

**建築工事における
入札時積算数量書活用方式運用マニュアル**

令和5年12月
神戸市建築住宅局技術管理課

◇はじめに

建築工事における入札時積算数量書活用方式運用マニュアル（以下「本運用マニュアル」という。）は、神戸市発注の建築工事における入札時積算数量書活用方式の実施に関し、発注者及び受注者間における積算数量の確認方法、協議等について円滑な運用がなされるよう手引きとして整理したものである。

◇引用等

- ・神戸市建築工事における入札時積算数量書活用方式試行要領

本運用マニュアルにおいて、下記の二重線による箱書きに本文を引用している。

--

- ・営繕工事における入札時積算数量書活用方式の実施に係る運用について（平成 29 年 3 月 14 日付け国営積第 25 号）

本運用マニュアルにおいて、下記の実線による箱書きに本文を引用している。

--

- ・その他参考資料

営繕工事における入札時数量書活用方式運用マニュアル（令和 5 年 3 月改定）

国土交通省大臣官房長官営繕部計画課

1. 目的

1. 目的

入札時積算数量書活用方式は、建築工事の請負契約締結後における積算数量に関する協議の円滑化に資するため、入札時において発注者が入札時積算数量書を示し、入札参加者が入札時積算数量書に記載された積算数量を活用して入札に参加することを通じ、工事請負契約の締結後において、当該積算数量に疑義が生じた場合に、入札時積算数量書に基づき、積算数量に関する協議を行うこととする方式である。

本方式の実施の目的は、大きく以下の 3 点が挙げられる。

- ・契約後に発注者の積算数量に疑義があった場合の受発注者間における協議を円滑に行うことができる。
- ・協議の結果、必要に応じて数量変更を行うことで、適正な請負代金額となり、契約の適正化に資するとともに営繕工事の品質確保につながる。
- ・発注者の積算数量に関して、発注者が受注者からの協議に応じることを明確にすることで、入札参加者による発注者積算数量の活用が促進され、入札参加者の積算の一層の効率化に寄与する。

2. 用語の定義

2. 用語の定義

- (1) この要領において「数量基準」とは、神戸市公共建築工事積算基準第5二に定める「神戸市建築工事積算要領」をいう。
- (2) この要領において「積算数量」とは、工事費を算出するために必要となる数量について、数量基準に基づき発注者が算出した数量をいう。
- (3) この要領において「入札時積算数量書」とは、発注者が入札時において積算数量として、神戸市建築工事積算基準第4に定める「公共建築工事内訳書標準書式」に基づき作成した種目別内訳、科目別内訳、中科目別内訳及び細目別内訳の名称、数量及び単位を取りまとめて示す書面（電磁的記録に記録されたものを含む。）をいう。
- (4) この要領において「工事費内訳書」とは、入札において入札参加者から提出される工事費内訳書をいう。

「神戸市建築工事積算要領」は、予定価格のもととなる工事費の積算等について、その計測、計算、区分の方法等について標準的な取扱いを規定したものである。

なお、「入札時積算数量書別紙明細」の定義は、「8. 入札時積算数量書別紙明細の公開」の「(1) 入札時積算数量書別紙明細について」による。

3. 対象工事

3. 対象工事

原則として、発注者が指定する競争入札に付する建築一式工事に適用する。
また、本試行要領は建築住宅局建築課の発注する工事を対象とする。

本方式の対象工事は、試行導入においては、発注者が指定する建築一式工事に適用する。

4. 対象工事である旨の明示等

4. 対象工事である旨の明示等

本方式の対象工事である旨の明示は、入札公告兼入札説明書の書面（以下「入札説明書」という。）への記載（電磁的記録を含む。）により行うものとする。

競争入札に付する建築工事について、入札説明書で入札時積算数量書活用方式の対象工事であることを明示する。

5. 入札時積算数量書活用方式の実施手続

5. 入札時積算数量書活用方式の実施手続

(1) 入札時積算数量書の取扱い

入札時積算数量書は、入札説明書の添付資料として、公開するものとする。

入札時積算数量書に記載された積算数量については、入札時積算数量書に基づく工事費内訳書の作成や契約締結後における工事の施工を義務付けるものではないが、積算数量に疑義が生じた場合における発注者と受注者との協議は、入札時積算数量書に基づき行うものとする。

入札時積算数量書は、入札説明書の添付資料であって、設計図書ではないことから、入札時積算数量書にある数量どおりの施工（履行）を求めるための「契約数量」にはならない。よって、入札時積算数量書にある数量の施工確認・検査は行わない。

また、入札参加者に入札時積算数量書の活用を義務づけるものではないため、入札参加者が入札時積算数量書の積算数量と異なる数量を用いた工事費内訳書を提出したとしても、その入札を無効とすることはない。

(2)入札時積算数量書に対する質問及び回答

入札参加者は、入札時積算数量書に記載された内容について質問することができる。この場合における質問及び回答は、入札説明書に対する質問として行うものとする。なお、受注者は、当該質問の有無にかかわらず、契約締結後に積算数量に疑義が生じた場合には、積算数量に関する協議を求めることができることに留意するものとする。

入札参加者は、入札手続き時に入札時積算数量書及び入札時積算数量書別紙明細に疑義が生じた場合には、質問受付期間中に質問することができる。発注者は、入札参加者から質問を受け付けた場合、確認の上、必要に応じて積算数量を訂正し、訂正後の積算数量を公開する。なお、入札時積算数量書及び入札時積算数量書別紙明細の位置づけは下表となるため、その質問回答書も設計図書ではないことに留意するとともに、質問回答書も区別して作成するものとする。

	工事請負契約書第1条※ における設計図書	建築工事特記仕様書「総則」 5.(1)における契約事項
「入札時積算数量書」及び「質問回答書（入札時積算数量書に関するもの）」	該当しない	該当する
「入札時積算数量別紙明細」及び「質問回答書（入札時積算数量別紙明細に関するもの）」	該当しない	該当しない

※発注者及び受注者は、この契約書（頭書を含む。以下同じ。）に基づき、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう。以下同じ。）に従い、日本国の法令を遵守し、この契約の契約書及び設計図書を内容とする工事の請負契約をいう。以下同じ。）を履行しなければならない。

(5) 積算数量に関する協議

- ①受注者は、入札時積算数量書に記載された積算数量に疑義が生じた場合は、直ちに協議を求めることができる。ただし、当該疑義に係る積算数量の部分の工事に着手した場合、協議を求めることができないものとする。
- ②受注者からの請求による①の協議は、入札時積算数量書における当該疑義に係る積算数量と、これに対応する工事費内訳書における当該数量とが同一であると確認できた場合にのみ行うことができるものとする。
- ③入札時積算数量書に記載された積算数量に関する協議（発注者が請求する場合を含む。）は、入札時積算数量書に基づき行うものとする。ただし、入札時積算数量書の細目別内訳において数量を一式としている細目（設計図書において施工条件が明示された項目を除く。）を除くものとする。
- ④③の協議の結果、入札時積算数量書に記載された積算数量に訂正が必要となった場合は、契約書、設計図書及び数量基準に定めるところによるものとする。

受注者が積算数量に疑義が生じた場合の確認の請求は、協議を行う積算数量の部分に関する施工に着手するまでに行う。なお、受注者は、施工に先立ち、施工計画書の作成や材料調達のための発注の際に数量を算出・確認すると思われ、この段階で疑義数量の有無が判明すると考えられるので、受注者に対して早めの確認の請求を行うように呼びかけることも必要である。

協議を求めるにあたって、建築工事特記仕様書「総則」5.(1)に基づく受注者からの確認の請求においては、当該積算数量に対して疑義を生じるに至った根拠資料を提出してもらう。

また、全ての数量が一致している必要はなく、当該疑義数量に関して数量が一致していれば、協議が可能とする。

別添－1及び別添－2のフロー及び様式例を参考に協議を行う。

6. 対象工事の建築工事特記仕様書

4. 対象工事である旨の明示等

(3)本方式を適用する工事においては、契約締結後において、入札時に発注者が示した積算数量に疑義が生じたときは、入札時積算数量書に基づき、積算数量に関する協議を行うこととなることを合意する。このため、神戸市建築工事特記仕様書又は建築工事改修特記仕様書に別記1に掲げる事項を記載するものとする。

なお、積算数量に関する協議の結果、請負代金額を変更するときは、神戸市工事請負契約約款第23条に定めるところによるものとする。

(別記1) 建築工事特記仕様書又は改修特記仕様書における記載例

「総則」

5. 入札時積算数量書活用方式

○入札時積算数量書は神戸市工事請負契約約款第1条に定める設計図書ではなく、数量通りの施工を義務付けるものではないが、入札時積算数量書に疑義が生じた場合における協議は入札時積算数量書に基づき行い、請求等は下記による。

なお、下記の特記は「神戸市工事請負契約約款第18条の2」として扱うこととする。

(入札時積算数量書に疑義が生じた場合における確認の請求等)

(1) 受注者は、入札時に発注者が示した入札時積算数量書(一式とされた細目(設計図書において施工条件が明示された項目を除く。))を除く。以下単に「入札時積算数量書」という。)に記載された積算数量に疑義が生じたときは、その旨を直ちに監督職員に通知し、その確認を請求することができる。ただし、当該疑義に係る積算数量の部分の工事に着手した場合、確認を求めることができないものとする。

(2) (1)の請求は、入札時積算数量書における当該疑義に係る積算数量と、これに対応する受注者が入札時に提出した工事費内訳書における当該数量とが同一であると確認できた場合にのみ行うことができるものとする。

(3) 監督職員は、(1)の請求を受けたとき又は自ら入札時積算数量書に記載された積算数量に誤謬又は脱漏を発見したときは、直ちに確認を行わなければならない。

(4) (3)の確認の結果、入札時積算数量書の訂正の必要があると認められるときは、発注者は、受注者と協議して、これを行わなければならない。

(5) (4)の訂正が行われた場合において、発注者は、請負代金額の変更の必要があると認められるときは、第23条に定めるところにより、当該変更を行うものとする。この場合における同条第1項本文の規定による協議は、訂正された入札時積算数量書に記載された積算数量に基づき行うものとする。

入札時積算数量書の扱いについては、設計図書である建築工事特記仕様書に契約事項として、その位置付けを規定しており、入札時積算数量書の数量は、特記仕様書「総則」5.(1)に基づく確認請求、協議、請負代金額の変更を行う場合の基となる。

7. 入札時積算数量書の公開項目等

(1) 各工種における数量公開項目については、別添-3「数量公開項目一覧」の「数量公開項目」の「数量書」を標準とする。

(2) 入札時積算数量書及び入札時積算数量活用方式別紙明細に添付する「入札時積算数量書等」は別添-4を参考とする。

8. 入札時積算数量書別紙明細の公開等

2. 入札時積算数量書別紙明細の公開等

(1) 入札時積算数量書別紙明細について

「入札時積算数量書別紙明細」とは、入札時積算数量書の細目別内訳において数量を一式としている細目のうち、必要に応じて別途作成される当該細目の根拠となる名称、数量及び単位を取りまとめて示す書面（電磁的記録に記録されたものを含む）。

また、入札時積算数量書において、数量を一式としている共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等について、必要に応じて別途作成される各費用の根拠となる名称、数量及び単位を取りまとめて示す共通仮設費明細書、現場管理費明細書及び一般管理費等明細書を含むものとする。ただし、数量基準において数量算出の方法が規定されていないものは除くことができる。

(2) 入札時積算数量書別紙明細の公開

「入札時積算数量書別紙明細」は、全て公開するものとする。なお、原則として見積りを行うために必要な図面及び仕様書の交付に併せて公開するものとする。

(3) 入札時積算数量書別紙明細の取扱い

「入札時積算数量書別紙明細」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための参考資料であり、神戸市工事請負契約約款第1条にいう設計図書及び建築工事特記仕様書「総則」5.にいう入札時積算数量書(※)ではない。(※) 神戸市に対応する記述に変更

(1) 数量基準において数量算出の方法が規定されていないもので「入札時積算数量書別紙明細」から除くことができるとしているものは、具体的に下記のものとする。

A) 計画数量（任意仮設。ただし、参考図等により提示された場合は公開対象となる。）

B) 計画数量（計画図等の違いにより数量が異なるもの）

C) 製造業者及び専門工事業者等により数量が異なるもの

D) 他の細目の数量により算定されるもの（スクラップ控除など）

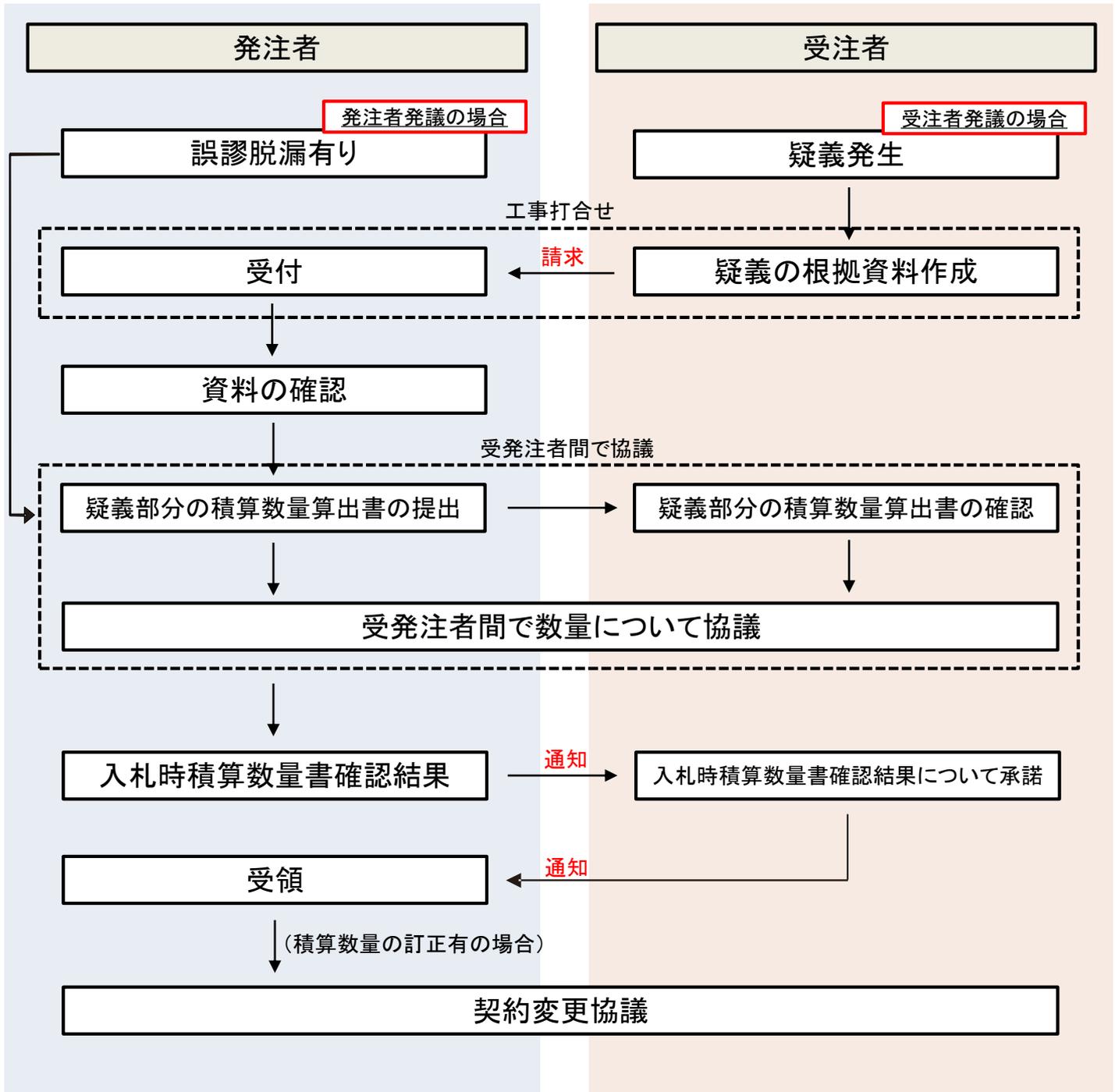
E) 労務費の類（施工費、接続費、搬入・据付費など）

F) 他の細目の金額で算出するもの（機械設備工事のスリーブ、形鋼振れ止め支持など）

(2) 各工種における数量公開項目については、別添-3「数量公開項目一覧」の「数量公開項目」の「別紙明細」を標準とする。

(3) 工事費内訳書の提出において、入札時積算数量書別紙明細に対応した工事費内訳書の提出は義務としていない。

入札時積算数量書活用方式に係る協議のフロー



(別添-2)

作成：令和 年 月 日 (/)

- 打合せ簿
- 指示書

		総括監督員	主任監督員	担当監督員

令和	年度	工事名 ○○新築工事	
No.	図面番号	指示事項	
		<p>(協議依頼・受注者発議の場合) ※受注者⇒発注者 下記のとおり、入札時積算数量書に記載された積算数量に疑義が生じたため、別紙1及び根拠資料を添えて協議します。</p> <p>(協議依頼・受注者発議の場合) ※発注者⇒受注者 下記のとおり、入札時積算数量書に記載された積算数量に誤謬(又は脱漏)があったため、別紙1及び根拠資料を添えて確認を依頼します。</p> <p>(協議後の確認結果通知) ※発注者⇒受注者 協議の上、別紙1のとおり確認結果を通知し、設計変更対象とします。</p> <p>(確認結果の承諾通知) ※受注者⇒発注者 確認結果通知の内容について承諾します。</p>	
			請負人

(別添-3)

数量公開項目一覧(建築工事(新営))

※1 入札時積算数量書の数量公開項目
※2 入札時積算数量書別紙明細の数量公開項目

数量公開項目凡例

- 入札時積算数量書又は入札時積算数量書別紙明細での数量公開項目
- 入札時積算数量書で「1式」として数量公開し、入札時積算数量書別紙明細はつけない

Table with columns: 名称, 単位, 数量公開項目 (数量書※1, 別紙明細※2), 名称, 単位, 数量公開項目 (数量書※1, 別紙明細※2), 名称, 単位, 数量公開項目 (数量書※1, 別紙明細※2). Rows include categories like 直接仮設, 土工, 地業, 鉄筋, and 型枠.

名称	単位	数量公開項目		名称	単位	数量公開項目		名称	単位	数量公開項目	
		数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2
天井下地	m2	○		床防水モルタル塗り	m2	○		天井ロックウール化粧吸音板張り	m2	○	
縁甲板張り	m2	○		排水溝モルタル塗り	m	○		(内部)			
上がりがまち	m	○		階段モルタル塗り	m2	○		床ビニル床タイル張り	m2	○	
横羽目板張り・縦羽目板張り	m2	○		外壁モルタル塗り	m2	○		床ゴム床タイル張り	m2	○	
化粧柱	本	○		薄付け仕上塗材	m2	○		床ビニル床シート張り	m2	○	
化粧半柱	本	○		厚付け仕上塗材	m2	○		天井カーベット張り	m2	○	
敷居	m	○		複層仕上塗材	m2	○		カーベット敷き	m2	○	
かもい	m	○		笠木モルタル塗り	m	○		合成樹脂塗床	m2	○	
中がもい	m	○		笠木こて仕上げ	m	○		床フローリング張り	m2	○	
畳寄せ	m	○		水切りモルタル塗り	m	○		畳敷き	枚	○	
幅木	m	○		建具周囲防水モルタル充填	m	○		ビニル幅木	m	○	
付けがもい	m	○		マスチック塗材塗り	m2	○		壁せつこうボード張り	m2	○	
回り縁	m	○						壁繊維強化セメント板張り	m2	○	
なげし	m	○		(内部)				壁紙張り	m2	○	
押入れ	か所	○		床コンクリート直均し仕上げ	m2	○		壁グラスウール吸音板張り	m2	○	
窓枠	m/か所	○		床モルタル塗り	m2	○		壁合成樹脂発泡材打込み	m2	○	
窓敷居	m	○		セルフレベリング材塗り	m2	○		耐火間仕切壁	m2	○	
窓がもい	m	○		階段下地モルタル塗り	m2	○		壁吹付け硬質ウレタンフォーム	m2	○	
窓額縁	m	○		階段モルタル塗り	m2	○		天井せつこうボード張り	m2	○	
出入口枠	m/か所	○		ビット防水モルタル塗り	m2	○		天井化粧せつこうボード張り	m2	○	
(仕上)部材別				幅木モルタル塗り	m	○		天井不燃積層せつこうボード張り	m2	○	
下地材	m2/本	○		壁モルタル塗り	m2	○		天井ロックウール化粧吸音板張り	m2	○	
造作材	m2/本	○		薄付け仕上塗材	m2	○		天井繊維強化セメント板張り	m2	○	
集成材	m2/本	○		厚付け仕上塗材	m2	○		システム天井	m2	○	
板材	m2/本	○		軽量骨材仕上塗材	m2	○		天井吹付け硬質ウレタンフォーム	m2	○	
合板	m2/本	○		柱型モルタル塗り	m2	○		スラブ下合成樹脂発泡材打込み	m2	○	
木材加工	1式		○	梁型モルタル塗り	m2	○					
防腐・防蟻処理	m2/本	○		モルタル役物	m	○					
防虫処理	m2/本	○		建具周囲防水モルタル充填	m	○		ユニット及びその他			
木材運搬	1式		○	キャスタブル耐火物	m2	○		(外部)			
施工費	1式		○	建具				煙突用成形ライニング材	m	○	○
				(アルミニウム製建具)		○		くつきマット	か所	○	○
				AW	か所	○		屋上金属製手すり	m	○	
屋根及びとい				AG	か所	○		(内部)			
(外部)				AD	か所	○		フリーアクセスフロア	m2	○	
長尺金属板葺き	m2	○		運搬、取付け	1式	—		案内板	か所	○	
折板葺き	m2	○		(鋼製建具)				室名札	か所	○	
金属屋根役物	m/か所	○		SD	か所	○		ピクトグラフ	か所	○	
ルーフトレン	か所	○		SG	か所	○		階数表示板	か所	○	
とい	m	○		運搬、取付け	1式	—		非常錠表示板	か所	○	
鋼管製とい防露巻き	m	○		(鋼製軽量建具)				誘導標識	か所	○	
とい掃除口	か所	○		LD	か所	○		屋内掲示板	か所	○	
とい受石	か所	○		運搬、取付け	1式	—		黒板	か所	○	
(内部)				(ステンレス製建具)				流し台	台	○	
とい	m	○		SSD	か所	○		コンロ台	台	○	
鋼管製とい防露巻き	m	○		SSW	か所	○		吊戸棚	台	○	
とい掃除口	か所	○		運搬、取付け	1式	—		水切棚	台	○	
				(木製建具)				トイレブース	m/か所	○	
(外部)				WD	か所	○		洗面カウンター	か所	○	
マンホールふた	か所	○		両面ふすま	か所	○		鏡	か所	○	
排水溝ふた	m	○		紙障子	か所	○		実験台	台	○	
笠木	m	○		(自動ドア開閉装置)				書架	か所	○	
笠木コーナー	か所	○		自動ドア開閉装置	か所	○		鍵箱	か所	○	
天井金属成形板張り	m2	○		(シャッター)				階段滑り止め	m	○	
天井廻り縁	m	○		SS	か所	○		カーテン	か所/m2	○	
軽量鉄骨天井下地	m2	○		LS	か所	○		ブラインド	か所/m2	○	
軽量鉄骨天井下地振止め補強	m2	○		運搬、取付け	1式	—		検査室等作業台	か所	○	
軽量鉄骨天井下地開口部補強	か所	○		(オーバーヘッドドア)				木製棚	か所	○	
壁アルミルーバー	m2	○		OHD	か所	○		可動間仕切	か所	○	
吊り金物	か所	○		運搬、取付け	1式	—		移動間仕切	か所	○	
丸環	か所	○		(ガラス)				アコーデオンドア	か所	○	
懸垂幕受け金物	か所	○		型板ガラス	m2	○		カーテンボックス	m	○	
ラス張り	m2	○		網入型板ガラス	m2	○		カーテンレール	m	○	
タラップ[足かけ]	か所	○		フロート板ガラス	m2	○		ブラインドボックス	m	○	
タラップ[梯子型]	m	○		網入磨き板ガラス	m2	○		シャワーユニット	か所	○	
手すり	m	○		合わせガラス	m2	○		造付け家具	か所	○	
旗竿受金物	か所	○		複層ガラス	m2	○		カウンター	か所	○	
煙突天板	か所	○		強化ガラス	m2	○		防煙垂壁	m	○	
煙突カバープレート	か所	○		熱線反射ガラス	m2	○		発生材処理			
(内部)				熱線吸収板ガラス	m2	○		(運搬)			
マンホールふた	か所	○		強化ガラスドア	か所	○		建設発生土運搬	m3	○	
床点検口	か所	○		ガラス合せシーリング	m	○		発生材積込み	m3/t	○	
排水溝ふた	m	○		映像調整	m2	○		発生材運搬	m3/t	○	
トラフふた	m	○		飛散防止フィルム張り	m2	○		(処分)			
くつずり	m	○		カーテンウォール				建設発生土処分	m3	○	
軽量鉄骨壁下地	m2	○		(メタルカーテンウォール)				発生材処分	m3/t	○	
軽量鉄骨壁下地開口部補強	か所	○		建具付メタルカーテンウォール	か所	○		囲障			
下地ラス張り	m2	○		メタルカーテンウォール	か所	○		直接仮設	1式		○
壁付手すり	m	○		運搬、取付け	1式	—		メッシュフェンス	m	○	
コーナービード	m	○		(PCカーテンウォール)				鋼製フェンス	m	○	
天井金属成形板張り	m2	○		PCカーテンウォール	か所	○		植え込み土留め	m	○	
天井廻り縁	m	○		運搬、取付け	1式	—		車止め	か所	○	
軽量鉄骨天井下地	m2	○		塗装				門扉	か所	○	
軽量鉄骨下がり壁下地	m	○		(外部)				根切り	1式		○
軽量鉄骨天井下地振止め補強	m2	○		DP	m2	○		埋戻し	1式		○
軽量鉄骨天井下地開口部補強	か所	○		SOP	m2	○		建設発生土運搬	m3	○	
タラップ[足かけ]	か所	○		(内部)				建設発生土処分	m3	○	
ジョイナー	m	○		SOP	m2	○		構内舗装			
浴室天井水切とい	m	○		EP	m2/m	○		直接仮設	1式		○
天井廻り縁	m	○		EP-G	m2	○		すき取り、積込み	1式		○
下がり壁見切り縁	m	○		NAD	m2	○		アスファルト舗装	m2	○	
天井点検口	か所	○		DP	m2	○		インターロッキングブロック舗装	m2	○	
サッシ、壁取合い金物	か所	○		UC	m2	○		コンクリート舗装	m2	○	
便所手すり	か所	○						路面表示用塗料	m/か所	○	
左官								縁石	m	○	
(外部)				内外装				土工機械運搬	1式	—	
床コンクリート直均し仕上げ	m2	○		(外部)				舗装機械運搬	1式	—	
床モルタル塗り	m2	○		土間下断熱材敷き	m2	○		建設発生土運搬	m3	○	
立上りモルタル塗り	m2	○		天井繊維強化セメント板張り	m2	○		建設発生土処分	m3	○	

名称	単位	数量公開項目	
		数量書※1	別紙明細※2
屋外排水			
排水管	m	○	
排水桝	か所	○	
L字側溝	m	○	
U字側溝	m	○	
根切り	1式		○
埋戻し	1式		○
建設発生土運搬	m3	○	
建設発生土処分	m3	○	
植栽			
低木	株	○	
中低木	本	○	
高木	本	○	
芝張り	m2	○	
地被類	株/m2	○	
植栽基盤整備	m2	○	
客土	m3	○	
植込費	株,本	○	
支柱	本	○	
ツリーサークル	か所	○	
植栽機械運搬	1式	-	
屋上緑化			
屋上緑化システム	m2	○	
植込み用土	m3	○	
低木	株	○	
中低木	本	○	
芝張り	m2	○	
地被類	株/m2	○	
植込費	株,本	○	
支柱	本	○	
屋上緑化軽量システム	m2	○	
共通仮設			
揚重機械器具	1式	-※	
仮囲い	m	○	
交通誘導警備員	人	○	
その他調査費、試験費	か所	○	
必要に応じ積上げるもの		○	

※図面特記されている項目は、数量公開とする。

数量公開項目一覧(建築工事(改修))

※1 入札時積算数量書の数量公開項目
 ※2 入札時積算数量書別紙明細の数量公開項目

数量公開項目凡例

- 入札時積算数量書又は入札時積算数量書別紙明細での数量公開項目
- 入札時積算数量書で「1式」として数量公開し、入札時積算数量書別紙明細はつけない

名称	単位	数量公開項目		名称	単位	数量公開項目		名称	単位	数量公開項目	
		数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2
直接仮設				(改修 ステンレス製建具)				塗装改修			
墨出し	1式	○		SSD	か所	○		(改修 外部塗装)			
養生	1式	○		SSW	か所	○		SOP	m2/m	○	
整理清掃後片付け	1式	○		運搬、取付け	1式	-		(改修 内部塗装)			
外部足場	1式	○		(改修 木製建具)				SOP	m2/m	○	
内部足場	1式	○		WD	か所	○		EP	m2/m	○	
仮設間仕切り	1式	○		ふすま	か所	○		EP-G	m2/m	○	
災害防止	1式	○		紙張り障子	か所	○		FE	m2/m	○	
仮設材運搬	1式	○		(改修 自動ドア開閉装置)				DP	m2/m	○	
				自動ドア開閉装置	か所	○		UC	m2/m	○	
				(改修 シャッター)							
防水改修				SS				耐震(躯体)改修			
(撤去 外部防水)				LS				(撤去)			
防水保護コンクリート撤去	m3	○		運搬、取付け	1式	-		鉄筋コンクリート撤去	m3	○	
防水立上り部保護撤去	m2	○		(改修 オーバーヘッドドア)				コンクリートブロック類撤去	m3	○	
防水層撤去	m2	○		OHD	か所	○		コンクリートカッター入れ	m	○	
シーリング撤去	m	○		運搬、取付け	1式	-					
手すり撤去	m	○		(改修 ガラス)				(改修 鉄筋)			
笠木撤去	m	○		型板ガラス	m2	○		異形鉄筋	t	○	
ルーフトレン撤去	か所	○		網入型板ガラス	m2	○		鉄筋スクラップ控除	1式	-	
とい撤去	m	○		フロート板ガラス	m2	○		鉄筋加工組立	t	○	
(撤去 内部防水)				網入磨き板ガラス				スパイラル筋			
防水保護コンクリート撤去	m3	○		複層ガラス	m2	○		ガス圧接	か所	○	
防水層撤去	m2	○		合わせガラス	m2	○		特殊な鉄筋継手	か所	○	
				熱線吸収板ガラス	m2	○		帯筋溶接	か所	○	
(改修 外部防水)				強化ガラス				鉄筋運搬			
既存下地補修	m2	○		熱線反射ガラス	m2	○		溶接金網	m2	○	
アスファルト防水	m2	○		ガラス合わせシーリング	m	○		あと施工アンカー	本	○	
合成高分子系ルーフィングシート防水	m2	○		映像調整	m2	○		(改修 コンクリート)			
塗膜防水	m2	○		飛散防止フィルム張り	m2	○		普通コンクリート	m3	○	
成形緩衝材	m	○		(改修 その他)				コンクリート打設手間	1式	-	
伸縮調整目地	m	○		SOP	m2	○		構造体強度補正	1式	-	
防水入隅処理	m	○		建具周囲シーリング	m	○		ポンプ圧送	1式	-	
シーリング	m	○		建具周囲防水モルタル充填	m	○		グラウト材注入	m3	○	
防水立上り部保護	m2	○		建具周囲モルタル充填	m	○		壁既存打継目あらし	m2	○	
防水層押え金物	m	○						吹付けモルタル工法	m2	○	
無筋コンクリート	m3	○		内装改修				(改修 型枠)			
床コンクリート面直均し仕上げ	m2	○		(撤去)				普通合板型枠			
溶接金網敷き	m2	○		床モルタル撤去	m2	○		打放し合板型枠	m2	○	
ルーフトレン	か所	○		床タイル撤去	m2	○		型枠運搬	m2	○	
手すり	m	○		ビニル床タイル撤去	m2	○		打放し面補修	m2	○	
笠木	m	○		ビニル床シート撤去	m2	○		グラウト材注入用型枠	m	○	
とい	m	○		タイルカーベット撤去	m2	○		耐震スリット	m	○	
(改修 内部防水)				カーベット撤去				(改修 鉄骨)			
既存下地補修	m2	○		フリーアクセスフロア撤去	m2	○		切板鋼板	t	○	
アスファルト防水	m2	○		ビニル幅木撤去	m	○		形鋼	t	○	
合成高分子系ルーフィングシート防水	m2	○		壁ボード撤去	m2	○		鉄骨スクラップ控除	1式	-	
塗膜防水	m2	○		軽量鉄骨壁下地撤去	m2	○		工場加工組立	t	○	
防水入隅処理	m	○		壁紙撤去	m2	○		工場錆止め塗装	m2/t	○	
シーリング	m	○		コンクリートブロック撤去	m3	○		溶融亜鉛めっき	t	○	
無筋コンクリート	m3	○		天井合板ボード撤去	m2	○		鉄骨運搬	t	○	
床コンクリート面直均し仕上げ	m2	○		軽量鉄骨天井下地撤去	m2	○		現場建方	t	○	
外壁改修				可動間仕切撤去				高力ボルト類			
(撤去)				トイレブース撤去				高力ボルト類締付			
壁タイル撤去	m2	○		天井点検口撤去	か所	○		溶接部試験	か所	○	
壁モルタル撤去	m2	○		ブラインドボックス撤去	m			耐火被覆	m2	○	
役物モルタル撤去	m	○		(改修 床)				(改修 その他)			
既存塗膜等の除去	m2	○		床下地補修	m2	○		コンクリート切断	m	○	
カッター入れ	m	○		床見切縁	m	○		シーリング	m	○	
シーリング撤去	m	○		床ビニル床タイル張り	m2	○		撤去部補修	m	○	
				床ビニル床シート張り	m2	○					
				タイルカーベット張り	m2	○		環境配慮改修			
(改修)				カーベット敷き				(撤去)			
施工数量調査	m2	○		合成樹脂塗床	m2	○		アスベスト除去	1式		○
外壁清掃	m2	○		床フローリング張り	m2	○		アスベスト含有成形板除去	m2	○	
ひび割れ部改修	m	○		畳敷き	枚	○					
欠損部改修	か所	○		床タイル張り	m2	○		(改修 屋上緑化)			
浮き部改修	か所	○		床モルタル塗り	m2	○		屋上緑化システム	m2	○	
下地調整	m2	○		(改修 幅木・壁)				補込み用土	m3	○	
仕上塗材塗り	m2	○		ビニル幅木	m	○		低木	株	○	
壁タイル張り	m2	○		壁下地補修	m2	○		中低木	本	○	
壁モルタル塗り	m2	○		壁タイル張り	m2	○		芝張り	m2	○	
役物モルタル塗り	m	○		壁モルタル塗り	m2	○		地被類	株/m2	○	
シーリング	m	○		軽量鉄骨壁下地	m2	○		植込費	株/本	○	
建具改修				軽量鉄骨壁下地開口部補強				支柱			
(撤去)				壁せつこうボード張り				屋上緑化軽量システム			
アルミニウム製建具撤去	か所	○		壁紙張り	m2	○					
鋼製建具撤去	か所	○		(改修 天井)				発生材処理			
鋼製軽量建具撤去	か所	○		天井せつこうボード張り	m2	○		(運搬)			
ステンレス製建具撤去	か所	○		天井珞クウール化粧吸音板張り	m2	○		発生材積込	m3/t	○	
木製建具撤去	か所	○		天井珞クウール化粧吸音板張り	m2	○		発生材運搬	m3/t	○	
シャッター撤去	か所	○		天井珞クウール化粧吸音板張り	m2	○		(処分)			
カッター入れ	m	○		天井珞クウール化粧吸音板張り	m2	○		発生材処分	m3/t	○	
シーリング撤去	m	○		軽量鉄骨天井下地	m2	○					
ガラス撤去	m2	○		軽量鉄骨下がり壁下地	m	○		共通仮設			
				軽量鉄骨天井振止め補強	m2	○		揚重機器器具	1式	-※	
(改修 アルミニウム製建具)				軽量鉄骨天井下地開口部補強				仮囲い			
AW	か所	○		天井廻り縁	m	○		交通誘導警備員	人	○	
AG	か所	○		下がり壁見切り縁	m	○		その他調査費、試験費	か所	○	
AD	か所	○		天井点検口	か所	○		アスベスト粉塵濃度測定	点	○	
運搬、取付け	1式	-		(改修 その他)				必要に応じ積上げるもの		○	
(改修 鋼製建具)				フリーアクセスフロア				※図面特記されている項目は、数量公開とする。			
SD	か所	○		トイレブース	m	○					
SG	か所	○		洗面カウンター	か所	○					
運搬、取付け	1式	-		室名札	か所	○					
(改修 鋼製軽量建具)				ブラインド							
LD	か所	○		ブラインドボックス	か所	○					
運搬、取付け	1式	-		鏡	か所	○					

(別添-4)

令和 年度

入札時積算数量書等

工事名

工事場所

説明書

1 入札時積算数量書とは

入札時積算数量書とは、発注者が入札時において積算数量として、公共建築工事内訳書標準書式に基づき作成した種目別内訳、科目別内訳、中科目別内訳及び細目別内訳の名称、数量及び単位を取りまとめて示す書面をいう。

入札時積算数量書は、入札説明書等の添付資料として、交付し公開するものである。

2 入札時積算数量書別紙明細とは

「入札時積算数量書別紙明細」とは、入札時積算数量書の細目別内訳において数量を一式としている細目のうち、必要に応じて別途作成される当該細目の根拠となる名称、数量及び単位を取りまとめて示す書面（以下「別紙明細」という。）をいう。また、入札時積算数量書において、数量を一式としている共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等について、必要に応じて別途作成される各費用の根拠となる名称、数量及び単位を取りまとめて示す共通仮設費明細書、現場管理費明細書及び一般管理費等明細書を含むものとする。

別紙明細は、参考資料として、交付し公開するものである。

3 入札時積算数量書等の数量について

数量については、「公共建築数量積算基準」、「神戸市建築工事積算要領」に基づき算出している。

4 共通仮設費の数量について

この数量書に記載されている共通仮設費の数量は、直接工事費に対する比率（共通仮設費率）に含まれない項目を示し、設計図書に基づき積み上げる計画数量である。

5 入札時積算数量書等に対する質問について

(1) 入札時積算数量書等に対して質問がある場合は、「入札説明書共通事項」に従い質疑回答書（様式第7号）を提出すること。

なお、数量そのものの差異等に係わる質問については、差異の根拠となる数量を算出した過程を示す数量算出書等の根拠資料も併せて提出すること。

(2) (1)の質問に対する回答は、工事請負契約約款第1条における「設計図書」には該当しない。